



クリケット

クリケットはイギリスで始められました。野球はこのクリケットから生まれたのです。イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、インド、スリランカ、パキスタン、ジンバブエ、南アフリカ共和国などたくさんの方で楽しんでいます。競技人口はサッカーに次いで世界第2位であるスポーツです。

使う道具

- ・ボール（野球よりもかたい、木でできたボールです）
- ・バット（平べったい形をしています）
- ・ウィケット（木製の台に3本の棒がさしてあります）
- * その他バッター用やキャッチャー用のプロテクターなども使います。

グラウンド

「フィールド」と呼ばれるだ円形のグラウンドです。フィールドの真中に「ピッチ」と呼ばれる長方形の場所があります。このピッチの両はじに「ウィケット」を立てます。片方から投手（「ボーラー」と呼ばれています）がウィケットめがけて投げ、もう片方にバッター（「バッツマン」と呼ばれています）が立ち、ボールを撃ちます。

プレイヤー

1チーム11人で行います。ポジションはこのようになっています。

守備チーム…ピッチャー（ボーラー）…ボールを投げる人です。

キャッチャー（ウィケットキーパー）…ウィケットの後ろに立ち、ボールが後ろに行かないように守ります。

野手（フィールダー）…ボールを打ってウィケットを守り、また、点数をとるためにボールを遠くに飛ばして走ります。

簡単なルール説明

守備…野球と同じで、ピッチャーの役目をする人（ボーラー）とキャッチャーの役目をする人（ウィケットキーパー）、そしてそれ以外の人（フィールダー）がそれぞれを守りの場所につきます。まず、ピッチの片方からボーラーがボールを投げます。ボールの投げ方は、「走る⇒ジャンプする⇒投げる」です。この時ボーラーはひじを曲げてはいけません。ボールをバッツマンの手前でバウンドさせるように投げます。（打たれる危険が少ないからです。）ボーラーは1回に6球投げたら別にボーラーと交代しなければならないので、1度に最低2人以上のボーラーが必要です。

アウトをとるにはこのような方法があります。

1. ボーラーが投げたボールがウィケットに当たったらアウト。（バッツマンの空振りなど）
2. 野球のフライと同じでバッツマンがバットに当たったボールをノーバウンドでボーラー、ウィケットキーパー、フィールダーのうちだれかが手でキャッチしたらアウト。（クリケットではグローブは使いません）

